



BUZZMAFF「となりの近畿」 ～和歌山県九度山町で富有柿 を収穫した～ (和歌山県九度山町)

近畿農政局では、YouTubeを使って近畿管内2府4県の農林水産業に関する色々な情報をお知らせするチャンネル、BUZZMAFF「となりの近畿」を動画配信しています。

12月には、「和歌山九度山町で富有(ふゆう)柿を収穫した」という動画を配信しています。

和歌山県は、柿の生産量が全国一(令和3年産)であり、今回は九度山町の農園で「富有」という品種の甘柿を中心に撮影をし、甘柿と渋柿の味の違いを表現してみました。

◆◆ 主な内容 ◆◆

【インフォメーション】

- ・近畿農政局 和食オンライン セミナーを開催します！

近畿農政局からのお知らせ

- ・近畿農政局管内の野生鳥獣による農作物被害状況(令和3年度)
- ・統計情報 作物統計調査 作物統計調査 令和4年産うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量(和歌山県、奈良県)
- ・消費税のインボイス制度開始に関するWeb説明会を開催します

和歌山県拠点からのお知らせ

- ・近畿農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第6回)選定証授与式開催



近畿農政局 和食オンライン セミナーを開催します！

平成25年に「和食：日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録され、今年は、「京料理」が登録無形文化財に登録されました。

今回のセミナーでは、和食に欠かせない「酢」に焦点を当て、「和食と酢」についての関わりや食文化を学ぶ基調講演とパネルディスカッションを開催します。和食や食文化に興味・関心のある多くの方々のご参加をお待ちしております。

1. **開催日時**：令和5年1月24日（火曜日）

14：00～16：00

2. **開催場所**：Web方式（Zoom使用）

3. **開催内容**：

○基調講演：テーマ「和食と酢」

講師：京都府立大学 文学部 和食文化学科
特別専任教授 佐藤 洋一郎 氏

○パネルディスカッション

テーマ：「和食文化の保護・継承を進める
ために～お酢の魅力をさぐる～」

コーディネーター：佐藤 洋一郎 氏

パネリスト：

飯尾 彰浩 氏（株式会社飯尾醸造 五代目当主）

佐々木 勝悟 氏（株式会社いづう 八代目当主）

大石 和男 氏（文化庁 参事官（食文化）付
文化財調査官）

4. **参加対象者**：「地域の和食文化
ネットワーク近畿」会員及び
和食や食文化に興味・関心
をお持ちの方等

5. **募集人数**：100名（先着順）

※定員になり次第、受付終了。

6. **申込方法**：以下の参加申込フォーム
からお申し込みください。

7. **申込期限**：令和5年1月20日（金曜日）



<参加申込フォーム>

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/wagohansemina2.html>

基調講演 「和食と酢」

京都府立大学 文学部 和食文化学科 特別専任教授 佐藤 洋一郎 氏



■プロフィール

和歌山県生まれ。

京都大学農学部農学科卒業、京都大学大学院農学研究科修士課程修了、農学博士。

ふじのくに地球環境史ミュージアム館長、和食文化学会 初代会長、

農林水産省食文化振興小委員会 座長。

専攻分野 食人類学、主な研究テーマ 日本人の米食史・稲作史、食の人類史、作物の
起源と伝播、農耕と環境の関係史など

お問い合わせ先

農林水産省近畿農政局経営・事業支援部

地域食品・連携課（担当：大橋、勝田）

電話：075-414-9025（直通）

メール：wasyokubunkanw.kinki@maff.go.jp

「地域の和食文化ネットワーク近畿」会員募集中です。（無料）

https://www.maff.go.jp/kinki/keiei/tiiki_syokuhin/wasyoku/210701.html



農政局からの お知らせ

◆近畿農政局管内の野生鳥獣による農作物被害状況（令和3年度）

- 令和3年度の近畿農政局管内の被害額は約 13.2 億円（全国 155 億円の約 9%）。
- 獣種別では、全体の約 7 割がイノシシ、シカ、サル。作目別では、稲、果樹、野菜の順。
- イノシシの被害は減少したが、シカの被害は増加。
- 平成22年度をピークに減少傾向にあるが、営農意欲の減退、耕作放棄・離農の増加等、被害額として数字に表れる以上に農山漁村に深刻な影響を及ぼしている状況。



統計情報

◆作物統計調査

令和4年産うめの結果樹面積、
収穫量及び出荷量
（和歌山県、奈良県）

一和歌山県の収穫量は前年産に
比べ5%減少の一

【調査結果の概要】

1 結果樹面積

結果樹面積は、和歌山県が4,880ha、奈良県が280haで、それぞれ前年産並みとなりました。

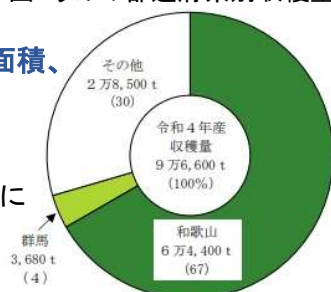
2 収穫量及び出荷量

収穫量は、和歌山県が6万4,400t、奈良県が798tで、前年産に比べそれぞれ3,100t（5%）、642t（45%）減少しました。

出荷量は、和歌山県が6万2,200t、奈良県が762tで、前年産に比べそれぞれ3,000t（5%）、618t（45%）減少しました。

なお、和歌山県の収穫量は昭和40年産から58年間連続全国第1位となっており、全国の67%を占めています。

図 うめの都道府県別収穫量



注：統計数値及び割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

◆消費税のインボイス制度開始に関するWeb説明会を開催します



近畿農政局では令和5年10月1日から導入されるインボイス制度に備え、近畿農政局管内の農業者、食品事業者及び関連団体等向けの制度説明会を下記の開催日程・開催方法で行います。

この制度説明会では、インボイス制度についての理解を深め、インボイス登録の要否について検討が出来るようにするとともに、登録する場合には事前準備をスムーズに進められるよう、大阪国税局から説明を行います。

説明会の参加申込みは、下記URLまたは二次元コードからお申し込みください。

1 開催日程（各回とも所要時間は1時間程度 説明内容は同じ。）

- ①令和5年1月12日（木曜日） 10時30分開始
- ② 同 上 13時10分開始
- ③令和5年1月18日（水曜日） 10時30分開始
- ④ 同 上 13時10分開始

2 開催方法 Web方式（Webex使用）

3 申込はこちら（近畿農政局HP）

申込期限は各々の開催日の2日前まで

https://www.contactus.maff.go.jp/j/kinki/form/221122_4.html

インボイス制度web説明会（近畿農政局）



4 問い合わせ先：近畿農政局企画調整室

南嶋、瀧脇、徳田 TEL：075-414-9037

インボイス制度特設サイト（国税庁HP内）はこちら

<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/invoice.htm>

インボイス制度説明会（小野市会場）



インボイス制度 特設サイト



詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2022.html#1130>



和歌山県拠点 からのお知らせ

◆近畿農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第6回）選定証授与式開催

令和4年12月21日（水曜日）近畿農政局和歌山県拠点は、近畿農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第6回）ビジネス・イノベーション部門で選ばれた和歌山県立神島高等学校（以下、「神島高校」という。）商品開発プロジェクト「神島屋」に対して、近畿農政局和歌山県拠点総括農政推進官から選定証の授与を行いました。また、選定証授与式後開催した懇談会では、神島高校の生徒から取組事例の紹介をいただいたのち、意見交換を行いました。



【記念撮影】

右から那須教諭、中野教頭、亀井校長、澤田総括農政推進官、「神島屋」生徒代表6名

神島高校では、授業で開発した商品を「神島屋」という屋号で販売するなどの課外活動を多くの生徒が参加して行っています。「神島屋」は地域で生産されている“「南高梅」を活用して「地域」を盛り上げる”をコンセプトに活動しています。活動を続けるなかより地域の産業を理解し、新たな地域の魅力に気付くなかで、高校生ならではの発想で地域活性化に取り組まれています。今では、地域の企業から商品開発等を依頼されるほどの「神島屋」となっています。



【選定証授与の様子】

神島高校 商品開発プロジェクト「神島屋」を代表して、3年生の木村優花さんに選定証が授与されました。



【校長あいさつ】

亀井校長から受賞のコメントをいただきました。



【取組事例紹介の様子】

神島高校 商品開発プロジェクト「神島屋」の3年生岡崎遙香さんと小阪彩音さんから「神島屋」の取組事例を発表していただきました。



【意見交換の様子】

「梅あられ」や「梅やきとり」に続く人気商品「梅ジャムコッペ」の開発秘話を伺いました。また、今年は1年生を中心に企業と連携して「梅干し」や「ヒロメ」などで新たな商品開発も進められており、今後の活躍が期待されます。

取組概要、これまでの受賞結果（近畿農政局HP）
<https://www.maff.go.jp/kinki/keikaku/nousonshinkou/kasseika/dis2.html>

「神島屋」和歌山県立神島高等学校HP
<https://kashimaya.kiiminpo.jp/>

農林水産省近畿農政局

企画調整室	〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町	TEL(075)451-9161 FAX(075)414-9060
滋賀県拠点	〒520-0044 大津市京町3-1-1 大津びわ湖合同庁舎6F	TEL(077)522-4261 FAX(077)523-1824
京都府拠点	〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町	TEL(075)414-9015 FAX(075)414-9057
大阪府拠点	〒540-0008 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館6F	TEL(06)6943-9691 FAX(06)6943-9699
兵庫県拠点	〒650-0024 神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎4F	TEL(078)331-9941 FAX(078)331-5177
奈良県拠点	〒630-8113 奈良市法蓮町387 奈良第3地方合同庁舎	TEL(0742)32-1870 FAX(0742)36-2985
和歌山県拠点	〒640-8143 和歌山市二番丁3 和歌山地方合同庁舎	TEL(073)436-3831 FAX(073)436-0914